

建設職（土木）

〈現所属：都市整備部都市計画課〉

平成 25 年度採用
上級建設職（土木）



「県外の大学で都市計画、交通計画を学び、弘前を外から見つめる機会があったことで、地元弘前のまちづくりに携わりたいと思うようになりました。」

・現在の自分の主な担当業務

現在は、国土交通省に行政実務研修員として派遣されており、土地区画整理事業や都市再生整備計画関連事業、被災市街地の復興に関する業務に携わっています。

・業務をする上で心がけていることは？

職場内でコミュニケーションをとることです。

何気ない会話から課題解決の糸口を見つけることができ、周りがどのような業務をしているかおおまかにでも把握しておくことで、業務を効率的に進めることができると思っています。

・今までの業務で印象に残っていることは？

「弘前市立地適正化計画」の策定業務に携わったことです。

課内の複数の係から担当が集まりチームで作成を進めたことが当時は新鮮でしたし、多くの課題を解決しなければならず苦勞することがかなりありましたが、スキルアップになりました。また、制度が創設されてから取り組みをはじめたので、全国的にもあまり事例がない中での作成であったこと、まちづくりにおいて重要な計画でもあったので、気にかけることが多く、大変でもありました。

・達成感や、やりがいを感じる時は？

担当した道路整備が完了して、安全が確保されると達成感を感じますし、やりがいも感じます。

・これから弘前市役所を目指す人へ一言

女性の土木職の職員は少ないですが、生活にかかせないインフラ整備・維持管理を担うとてもやりがいがある業務ができる職種だと思います。採用まで大変なことも多いと思いますが、弘前市職員になったら、どういう仕事をしたいか想像しながら、目標に向かって頑張ってください。一緒に働けることを楽しみにしています。